

「私は大丈夫」が一番危ない！ 巧妙化する特殊詐欺の手口と防止策



近年、新しいタイプの特殊詐欺が次々と現れ、手口も多種多様化し、毎年甚大な被害が発生しています。被害者の多くが「まさか自分が被害に遭うとは思っていなかった」と口にするほど、だます手口は巧妙です。今号では、警視庁にご協力いただき、誰もが被害者になり得る特殊詐欺の手口と、被害を未然に防ぐ対策についてお伝えします。

多種多様化した手口によって 10類型に分類された特殊詐欺

警視庁によると、特殊詐欺は当初オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺の四つの手口（総称：振り込め詐欺）から始まりましたが、以降もさまざまな手口が出てきているとのこと。架空料金請求詐欺では、電子マネーを悪用するケースが増えるなど、だまし取るツールも多様化しています。そのため2020年1月1日より、特殊詐欺の手口が10種類に分類され【図表1】、次のような定義となりました。

「特殊詐欺とは、犯人が電話やハガキ（封書）等で親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金を受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪（現金

等を脅し取る恐喝や、隙を見てキャッシュカード等をすり替えて盗み取る詐欺盗（窃盗）を含む」（警視庁WEBサイトより）。

オレオレ詐欺、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺の三つの手口を合わせた「オレオレ型特殊詐欺」の認知件数（※警察当局が犯罪と認知した件数）は、特殊詐欺の総認知件数の7割近くにも上り、主要な手口となっています【図表2】。今年に入ってから、ATMを悪用した還付金詐欺が急増しており、これら四つの手口はとくに注意が必要です。

また、近年、緻密な計画と周到な役割分担によって被害者をだます「劇場型」と言われる手口が、さまざまなタイプの特殊詐欺に利用されています。犯行シナリオに合わせて、詐欺グループが演じる警察官や銀行員などが複数人登場して被害者を信じ込ませるもので、高齢者に限らず多くの人が被害に遭っています。

犯行例からわかる 巧みなシナリオと話術

特殊詐欺の巧妙さがうかがえる犯行事例を紹介します。

●オレオレ詐欺

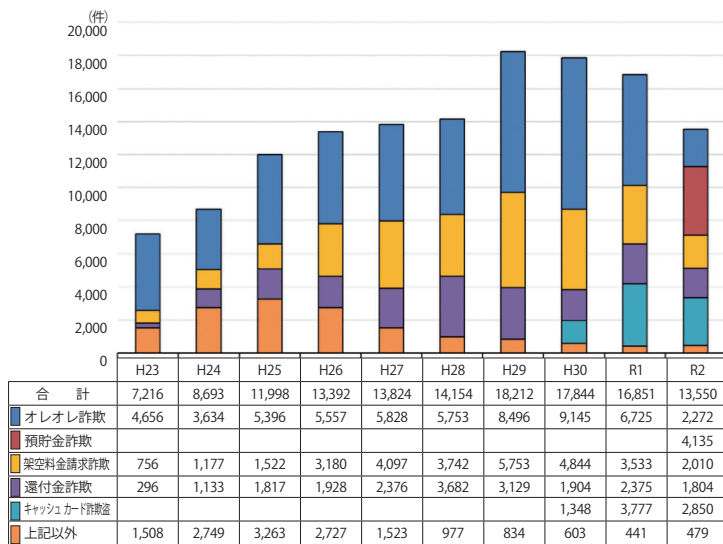
A子さんの自宅電話に、息子を名乗る犯人から「会社のお金が入ったかばんを落としてしまった！携帯電話も入っているので、遺失物センターから自宅電話に連絡がいくようにした。連絡がきたらお金が無くなっているか確認して」という電話がかかってきました。しばらくすると、遺失物センター職員を名乗る別の犯人から電話があり、「お金は無くなっていますね」と言われます。息子を名乗る犯人に、お金が無くなっていることを伝えると、「今日中にお金を用意しないと会社をクビになる！上司と自分で半分用意できるから、残りのお金を何とかして」と懇願されます。さらに、上司を名乗る犯人からも「私も負担するので」と言われ、上司と一緒にいるなら本当だろうと、A子さんは信じてしまいました。息子を名乗る犯人に「銀行で引出し理由を聞かれたら、リフォーム代とか言ってくださいまか

【図表1】 類型別特殊詐欺の手口

名称	特色
①オレオレ詐欺	息子や孫といった親族やその上司、警察官、弁護士などを電話で名乗り、親族が起こした仕事のトラブルや事故を口実にお金を要求して、現金をだまし取る（脅し取る）
②預貯金詐欺	警察官や銀行協会職員などを電話で名乗り、「あなたの口座が犯罪に利用されているのでキャッシュカードの交換が必要」などと言って暗証番号を聞きだし、キャッシュカード等をだまし取る（脅し取る）
③架空料金請求詐欺	有料サイト事業者や法務省、裁判所などの名称で「未払い料金を支払わないと裁判になる」といったことをメールやはがき（封書）で知らせ、金銭等をだまし取る（脅し取る）
④還付金詐欺	自治体の職員などを電話で名乗り、医療費や税金、保険料などの還付金が受け取れるなどと言って、携帯電話で被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させる
⑤融資保証金詐欺	実際には融資をしないのに、簡単に融資が受けられると信じ込ませ、融資を申し込んできた人に対して「保証金が必要です」などと言って金銭等をだまし取る（脅し取る）
⑥金融商品詐欺	架空または価値がまったくない未公開株や有価証券、高価な物品などについて虚偽の情報を教えて、購入すれば利益が得られると信じ込ませ、その購入代金として金銭等をだまし取る（脅し取る）
⑦ギャンブル詐欺	「バチンコ打ち子募集」などと雑誌に掲載したり、不特定多数に同内容のメールを送り付け、会員登録などを申し込んだ人から、登録料や情報料の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）
⑧交際あっせん詐欺	「女性を紹介」などと雑誌に掲載したり、不特定多数に同内容のメールを送り付け、女性の紹介等を申し込んだ人から、会員登録料や保証金として金銭等をだまし取る（脅し取る）
⑨その他の特殊詐欺	①から⑧の類型に該当しない特殊詐欺
⑩キャッシュカード詐欺盗（窃盗）	警察官や銀行協会、大手百貨店の職員を電話で名乗り、「あなたのキャッシュカードが不正利用されているので使えないようにする」などと言って、隙を見てキャッシュカード等をすり替えて盗み取る

【取材協力】警視庁

【図表2】手口別の認知件数の推移



(出所) 警察庁広報資料「令和2年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について(確定値版)」

警察庁が発表した2020年における特殊詐欺の被害状況をみると、認知件数1万3550件(前年比19・6%減)、被害額は285・2億円(同9・7%減)となり件

油断禁物！ 2020年の被害状況

警察庁が発表した2020年における特殊詐欺の被害状況をみると、認知件数1万3550件(前年比19・6%減)、被害額は285・2億円(同9・7%減)となり件

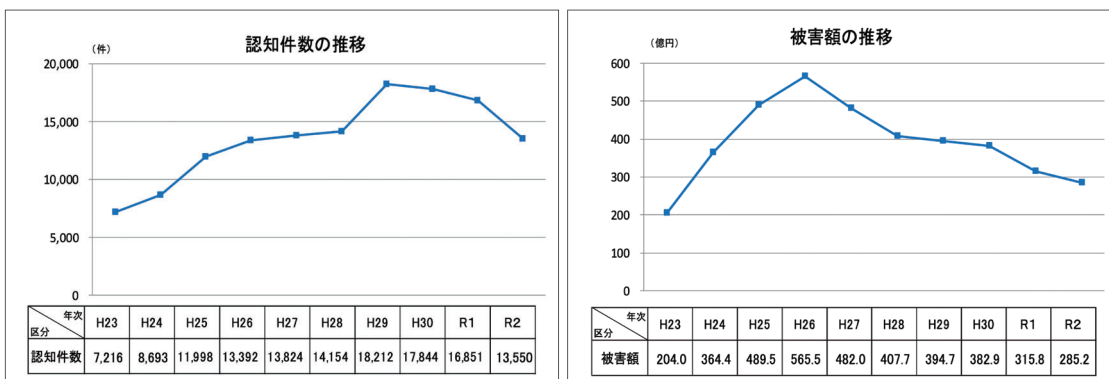
数、金額とも減少しました【図表3】。この状況について警視庁は、「2020年はコロナ禍により平時とは異なるため、油断は禁物です」と強い警戒感を示します。実際、1件当たりの被害額は220・2万円の前年比11・9%増と、増加しています。また東京都では、2021年1月から6月における還付金詐欺の認知件数は、前年同期比で2倍近くに急増しており、オレオレ詐欺も前年同期に比べ多く発生しています。「同様に全国でも増加すると思われる」（警視庁談）。

そのほかの2020年の被害状況の数値を見ると、被害は大都市圏に集中しています。認知件数は東京2896件、神奈川1773件、千葉1217件、大阪1107件、兵庫1027件、埼玉1026件、愛知596件で、総認知件数に対する7都府県の割合は71%にもなります。また、奪われたものはキャッシュカードが52・9%と最も多く、被害者と直接対面して犯行を敢行する手交型は68・2%となり、従来主流であった「非対面で現金をだまし取る」方法から、大きく変化しました。

被害者の状況を見ると、高齢者(65歳以上)被害の認知件数は、法人被害を除いた総認知件数の85・7%となり、引き続き高年齢女性の被害割合を占めています。高年齢女性の被害認知件数が約66%と際立っていますが、原因は、ほとんどの犯行に使われる固定電話に出るのが、高齢女性が多いからと言われています。「だま

される理由に、性別や年齢はあまり関係ありません。例えば、架空料金請求詐欺の高齢者率は半分以下です。特殊詐欺は、誰もがだまされる可能性があります(警視庁談)。

【図表3】特殊詐欺における認知件数と被害額の推移



(出所) 警察庁広報資料「令和2年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について(確定値版)」

して、「遺失物センターに行く自分に代わり、同僚がお金を取りに行くから用意しておいて」と言われ、お金を取りに来た同僚を名乗る犯人に、お金を渡してしまいました。

●還付金詐欺
市役所職員を名乗る犯人から、B子さんの自宅電話に「医療費の還付金受取り手続きがまだのようですが？」という電話が来ました。B子さんは覚えがなかったのですが、「以前に案内の封筒を送っています。手続きの期限が本日までなので、お電話しました」と犯人に説明され、B子さんは封筒を見落としたかと思い、話を信じてしまいました。「ATMなら手続き

が間に合いますので、今から携帯電話を持って、近くのATMに行ってください。着いたら操作方法を説明するのでお電話ください」という犯人の指示通りに、B子さんはATMへ急ぎます。犯人は「還付金を振り込むので、振り込みボタンを押してください」と説明して、振り込みボタンを押すと自分の口座に還付金が振り込まれると勘違いさせます。そして、金額入力画面では「今から言う整理番号を入力させ、B子さんはお金を犯人の口座に振り込んでしまいました。」

こうした手口の共通点は、犯人が最初の接触に使うツールのほとんどが、固定電話であるということです。最近では「コロナ助成で給付金が出ている」「ワクチン接種優待」といった新型コロナウイルス関連をだましのきっかけにした手口も見受けられますので、注意が必要です。

信じてしまいました。「ATMなら手続き

の接触に使うツールのほとんどが、固定電話であるということです。最近では「コロナ助成で給付金が出ている」「ワクチン接種優待」といった新型コロナウイルス関連をだましのきっかけにした手口も見受けられますので、注意が必要です。

そのほかの2020年の被害状況の数値を見ると、被害は大都市圏に集中しています。認知件数は東京2896件、神奈川1773件、千葉1217件、大阪1107件、兵庫1027件、埼玉1026件、愛知596件で、総認知件数に対する7都府県の割合は71%にもなります。また、奪われたものはキャッシュカードが52・9%と最も多く、被害者と直接対面して犯行を敢行する手交型は68・2%となり、従来主流であった「非対面で現金をだまし取る」方法から、大きく変化しました。

被害者の状況を見ると、高齢者(65歳以上)被害の認知件数は、法人被害を除いた総認知件数の85・7%となり、引き続き高年齢女性の被害割合を占めています。高年齢女性の被害認知件数が約66%と際立っていますが、原因は、ほとんどの犯行に使われる固定電話に出るのが、高齢女性が多いからと言われています。「だま

だまされる要因は「高齢だから」とは限らない

なぜ特殊詐欺は、高齢者の被害が多いのでしょうか？

高崎 大前提として、特殊詐欺の手口は、誰でもだまされるほど巧妙です。このため、年齢性別を問わず被害に遭う可能性があります。被害者に高齢者が多いため、「判断力が低下しがちな高齢者ほどだまされやすい」と考えてしまいますが、現役で仕事をバリバリされている方や企業の経営者も被害に遭っています。高齢者に被害が多いのは、特殊詐欺によく利用される固定電話に出る機会が多いのが高齢者、とくに高齢女性であることが大きな理由です。

また、オレオレ詐欺の手口で「なぜ自分の子どもの声がわからないの?」と思う人も多いでしょう。大学の研究で「高齢者でなくても、電話による声の判別は

難しい」という結果が出ています。さらに犯人は、「とにかく急いでいる」と強調することで、被害者に冷静に考える時間を与えないようにします。そうすることで、多くの人が親心と焦りによって、正常な判断ができずにだまされてしまうのです。

いどのような人が被害に遭いやすいのでしょうか？

高崎 「自分は絶対だまされない」と過信している方は危険です。警察庁が2018年に行った「オレオレ詐欺被害者等調査」では、「自分は被害に遭わない」と思っていた」と答えた方が、被害者の78・2%にもなり、だまされなかった方の56・8%と大きな差がありました【図表】。過信は油断となり、警戒心を持たないことで、巧妙な特殊詐欺の餌食になりやすいと思われます。

また、「自分の親は大丈夫」と安心している方もとても多いですが、決して大丈夫ではないことを認識してほしいで

警視庁に未然防止策をお聞きしました。

「誰でも被害に遭う可能性があります」

「手口を知り家族で対策を講じることが大切です」

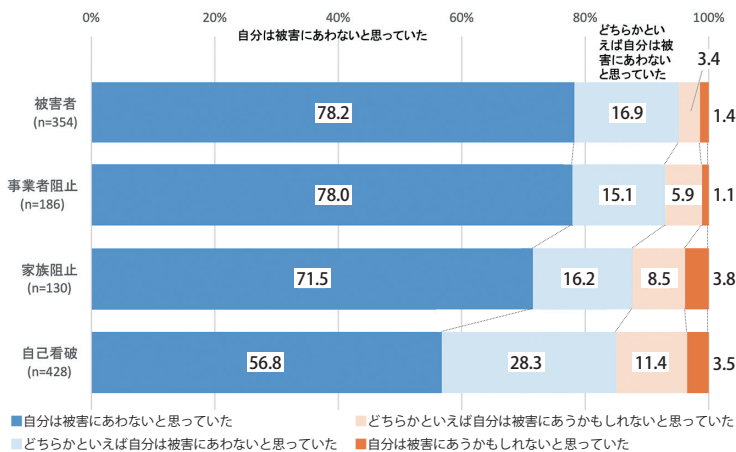
特別企画
特殊詐欺を知らない人は少なく、「自分はだまされるはずがない」と考えている人が大半ではないでしょうか。しかし、被害者の多くがそのような人たちなのです。なぜ、だまされてしまうのか？ 未然防止の重要性と具体的な対策とともに、警視庁犯罪抑止対策本部の高崎光氏にうかがいました。

す。高齢であることが被害に遭う直接の理由ではありませんが、やはり現役世代と比較すれば、判断力や認識力などが弱くなり、そのうえだまされる機会が多いのですから、大丈夫であるはずがありません。現役世代のご家族が、高齢のご両親を守る対策をもつと講じれば、特殊詐欺の被害減少に大きくつながるのではないのでしょうか。

特殊詐欺を未然に防ぐ
三つの対策とポイント

「特殊詐欺に遭わないためには、どのような対策をすればよいのでしょうか？」

【図表】被害に対する意識
「今回、だましの電話やメールを受ける前に、あなたは特殊詐欺の被害にあう可能性についてどう思っていましたか？」



※被害者/被害に遭った方 事業者阻止/電話などでだまされたものの、金融機関職員などの声掛けによって被害に遭わなかった方 家族阻止/電話などでだまされたものの、家族などが見破り被害に遭わなかった方 自己看破/自ら見破ってだまされなかった方

(出所) 警察庁広報資料「オレオレ詐欺被害者等調査(平成30年8月1日から11月30日)の概要について」を基に作成

高崎 ご家族皆さんで、三つの対策を講じていただきたいと思えます。

第1に、先ほどお話ししたように特殊詐欺を甘く見ず、「自分や家族がだまされるかもしれない」という警戒意識を常に持つことです。この意識によって、具体的な対策の効果グンと上がるはずですよ。第2に、「特殊詐欺の手口を知る」と

いうことです。手口がわかれば、詐欺を見抜いたり、犯人の話に違和感を覚えることができます。特殊詐欺の手口には定番のだまし文句があり、それを知っているだけでかなりの未然防止効果があります。例えば、現在急増している還



警視庁犯罪抑止対策本部 高崎 光氏

付金詐欺では、「ATMで手続きを」が定番のだまし文句ですが、ATMでお金を戻す手続きは、役所でもどこでもできません。このだまし文句を知っていれば、詐欺だと見抜けます。預貯金詐欺では、警察や金融機関職員などを装って「キャッシュカードを渡すように」がだまし文句です。警察や金融機関がキャッシュカードを電話で求めるなど決してありませんので、この電話も詐欺とわかります。オレオレ詐欺では、家族であっても「お金を至急用意して」と電話で言われたら、必ず電話を切って本人に連絡をすることを、家族のルールとして決めておくように

いでしょ。そして第3は、固定電話への対策です。特殊詐欺のほとんどが、被害者の固定電話から接触してきますので、この接触方法を断ち切れば、被害は大きく減らせます。ですから、「知らない人からの電話に出ないこと」が、最も有効な特殊詐欺の防止策なのです。具体的には、ナンバーディスプレイや録音機能など迷惑電話防止機能を有する電話機を使うことを推奨しています。多くの自治体で、高齢者を対象とした自動通話録音機の無料貸出しを行っているので、ぜひ利用してください。また、留守番電話は常時設定して

おき、内容を聞いて折返しが必要な電話だけかけ直すことを習慣にしましょう。そしてこの対策は、現役世代のご家族が率先して行うことが大切なのです。迷惑電話防止機能付きの電話を購入したものの、「設定や使い方がわからなくてそのまま」という高齢者も結構います。迷惑電話防止機能の設定や電話番号の登録の仕方、使い方の説明など、「あとは使っただけ」というところまでサポートしてあげてください。

「特殊詐欺の手口を知るためには、どのような方法がありますか？」

高崎 警視庁が運用する「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」というWEBページを、ぜひ活用してください。特殊詐欺の手口や被害に遭う原因、電話対策など未然防止に役立つ情報を、楽しく簡単に学べます。また、防犯アプリ「DISE Police」は、現在41万以上ダウンロードされており、特殊詐欺に遭わないための学習コンテンツなどが搭載されています。

**あなたの行動が
ほかの人を被害から守る**

「特殊詐欺と思われる怪しい電話がかかってきたら、どのように対処すればよいでしょうか？」

高崎 不審な電話が来たら、すぐに110番通報をお願いします。特殊詐欺の中には、ある程度エリアを絞って次々

と接触してくる手口もあります。通報していただければ、そのエリアで速やかに注意喚起を行うなどの対策をたてられるため、結果的に地域の住人を守ることにつながるのです。

「最後に、読者へのメッセージをお願いします。」

高崎 現在急増している還付金詐欺被害者の75%が、70歳以上の高齢者で、その手口は犯人が被害者に携帯電話で指示をしながら、ATM操作をさせるものです。そのため、警視庁と都内の金融機関では、高齢者の大切な財産を守るため、「ATMでの通話はしない、させない！」運動を推進しています。

ATMコーナーでは、どなたも携帯電話で通話をしないように心がけてください。もし、ATM付近で携帯電話の通話をしている高齢者を見かけたら、すぐにお声がけいただき、110番通報をお願いします。



ATMを悪用する還付金詐欺が全国で急増していることをうけ、警視庁と都内の金融機関は被害防止の取組みとして、東京都内全域のATMコーナーにおいて「携帯電話の通話はしない、させない！」運動を推進中です。